

エコインターンシッププログラム 活動報告

研修場所: 旭硝子(株)

研修期間: 平成19年11月5日 ~ 11月16日

京都大学大学院
中央大学

山添 愛
北 聖吾

エコインターンシップについて

目的： 様々な環境問題に対する企業の取り組みを
現場に行って、実際に見る



エコインターンシップ研修内容

企業の化学物質管理の実態を知るー

- ・環境に関する法令、化学物質に関する法令
- ・現場である千葉工場での化学物質管理
- ・フロン破壊、再生技術について

インターンシップ実施内容

11月5日～9日 第1週

- 本社オリエンテーション
- 旭硝子の環境管理活動
- 鹿島工場見学
- 千葉工場における環境管理
- 安全体感研修



鹿島工場にて ガラス生産設備 見学

インターンシップ実施内容

11月12日～16日 第2週

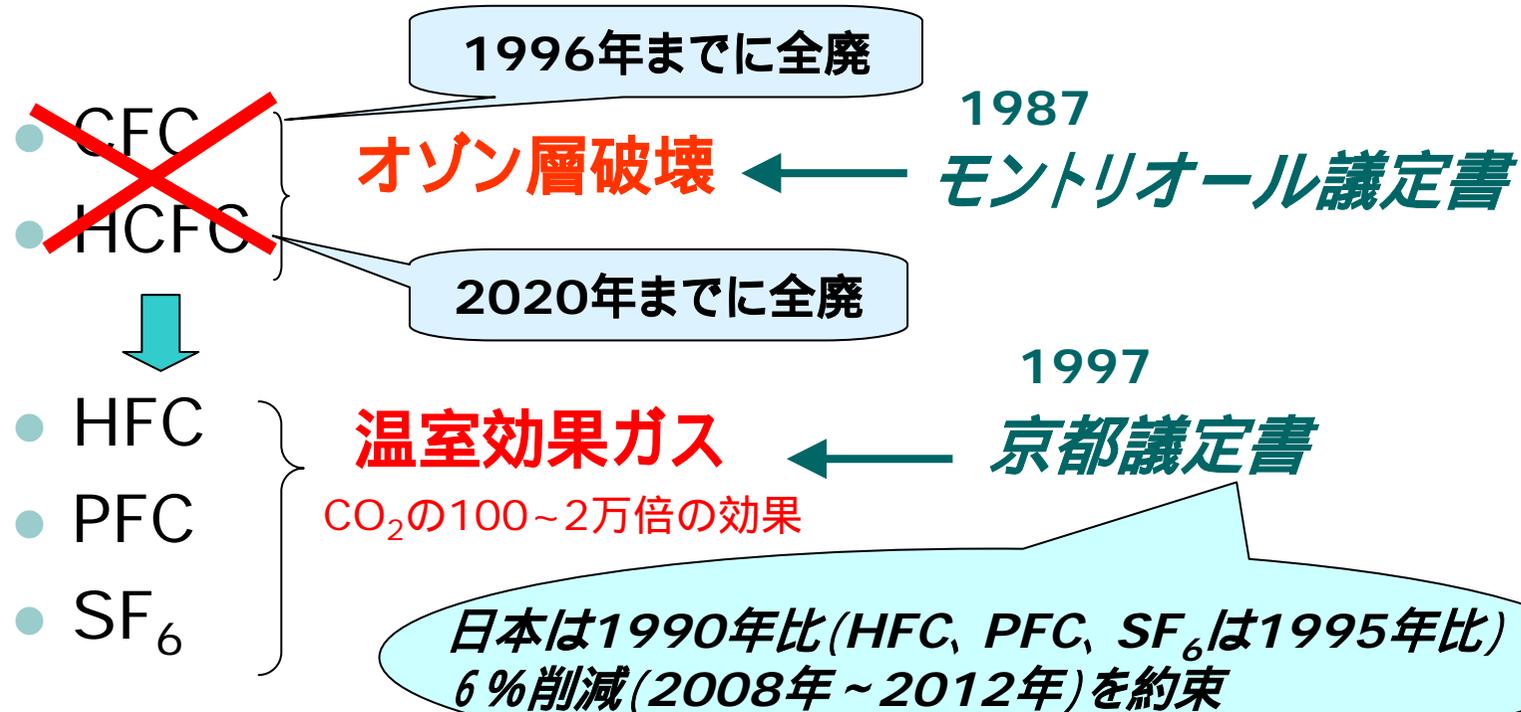
- 化学物質管理に関する教育、法令
- フロン破壊、再生技術について
- 研修成果とりまとめ
- 成果報告会



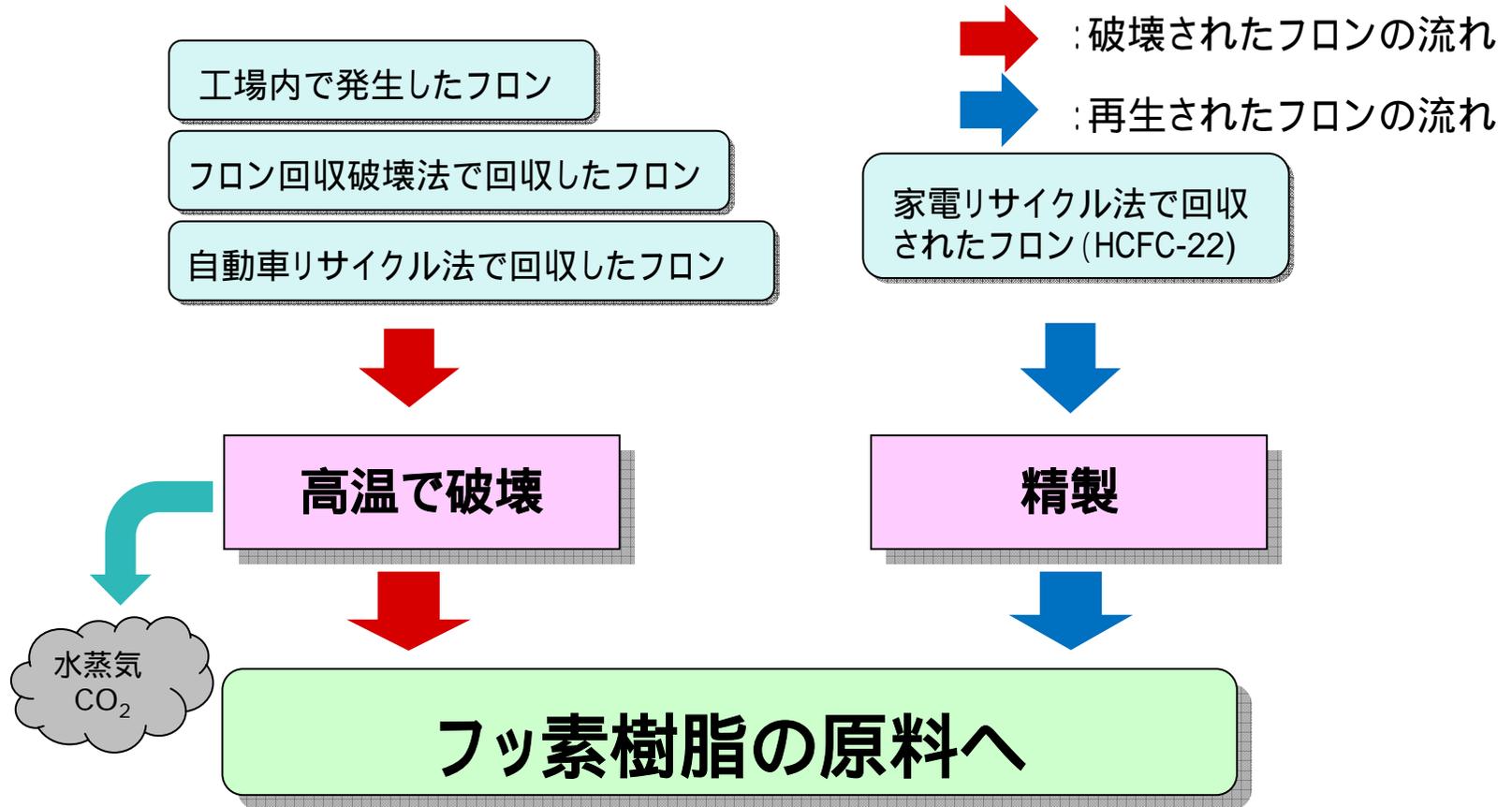
研修成果とりまとめの様子

フロン削減の必要性

- 旭硝子では、オゾン層破壊・地球温暖化の原因になるフロン類の回収・破壊に取り組んでいる
- フロン類の規制の流れ

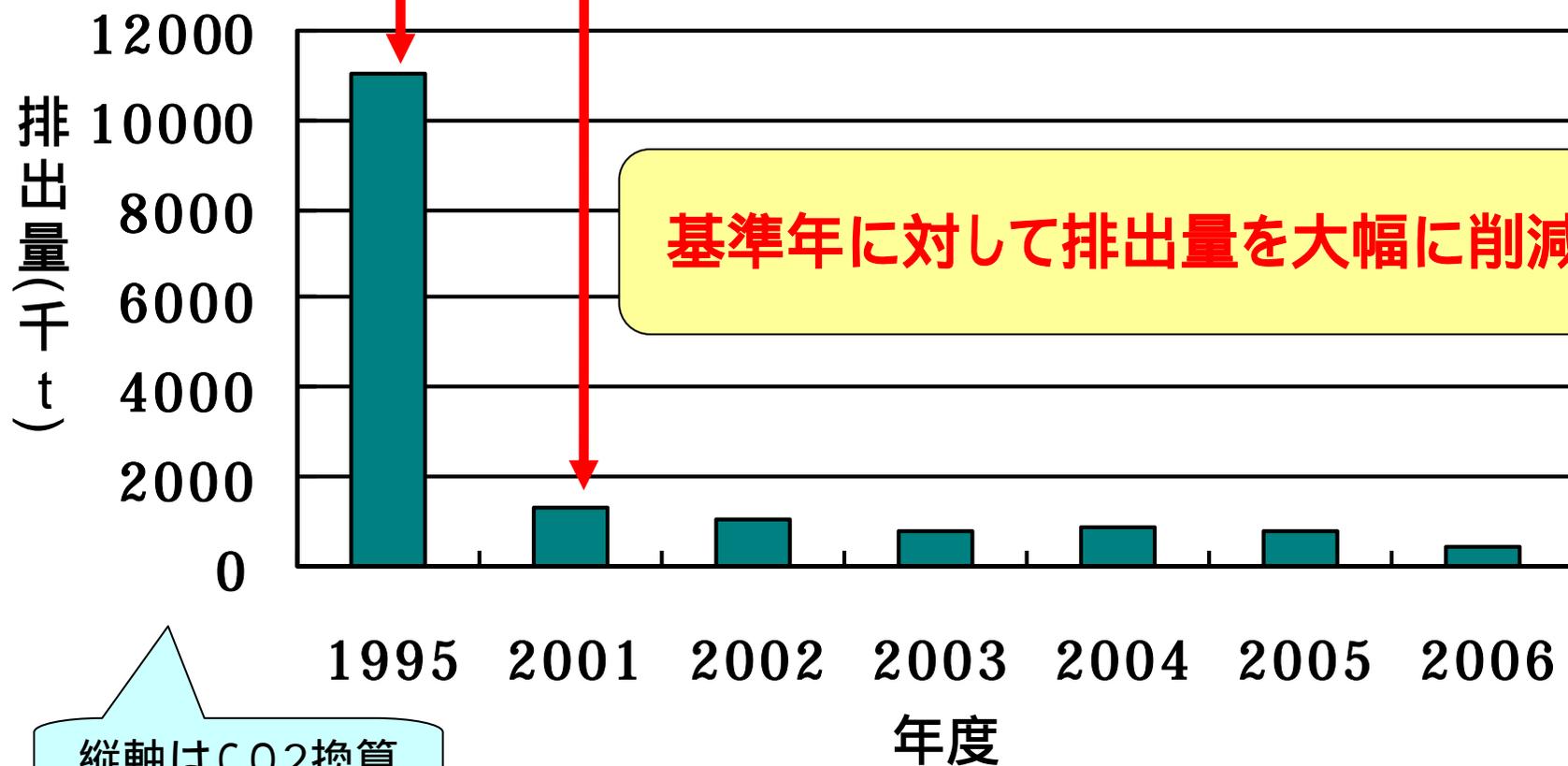


フロン類の回収・破壊



工場内で発生したフロンや、回収されたフロンを破壊・再生することにより、無害化し、さらにはフッ素系樹脂へ再生しています

旭硝子(千葉工場を中心とする)フッ素系温室効果ガスの 排出量推移



縦軸はCO₂換算



旭硝子の取り組み

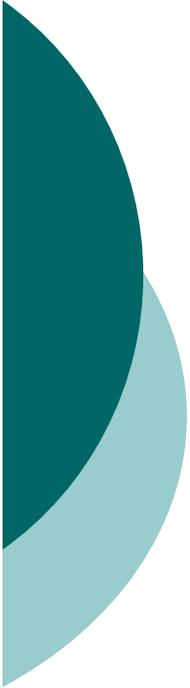
- 業界目標を上回る削減努力
 - フロン(HFC-23)業界目標-70%に対し、97%削減
- 厳しいルールによる化学物質管理
 - MSDSを義務付けられていない物質に関してもMSDSを作成など
- その他の取り組み
 - 環境に配慮した製品の開発と製造
 - 環境に関する講演会の実施 など



インターンシップを通して

- 環境に関わって仕事をすることの難しさ
幅広い知識や視野、 利益と環境との板挟み
- 環境へ貢献できる喜び
ただ単純に給与や評価がもらえるだけではない
自分だけではなく多くの人々に寄与できる

**これから仕事していく上で
何らかの形で環境へ貢献したい！**



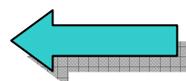
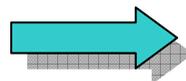
インターンシップを通して

- 環境部門で働いている方々の姿勢
 - 法令の先取り
 - 自ら環境問題に関わる仕事を選ぶ
- 環境部門で働いている方々の苦悩
 - ゴールがない
 - 努力はまだまだ世間には知られていない

「環境のことを考えて働く」とは？

環境のことを考える

- **社会的責任**
 - ・世界共通の課題
- **新たな視点**
 - ・企業のコストダウン
 - ・やりがい



働く

- **チームとしての力**
 - ・他の社員の力、組織の力
- **社会への影響**
 - ・環境に配慮した製品の提供
 - ・消費者の環境意識向上

より多くの人を巻き込み

社会全体で環境問題に取り組む